

新たな見
どころ



▲台南園区「公 19」公園にある樹木をイメージした東屋



▲台南園区南側ゲートに設置された案内図

生活に新たな視野を 舒湖と公 19 公園が完成

「霞客湖」の近くの「舒湖」公園は、「色彩」と「柔かさ」を強調したフラワーガーデンのイメージで設計されています。また、「水岸・秘密花園」をコンセプトとして湖畔に整備された緑地にはたくさんの木や花が植えられ、人々はベンチにのんびり腰掛けてこの静かな空間に浸り、リラックスすることができます。

「公 19」公園はより「自然」を意識した公園で、シンプルな手法で地盤を整え、植樹も複数の樹木を大量に植栽して複層林とすることで本物の森林や原野のような景観を作り出しています。林や草地、湖沼が自然なハーモニーを織り成したこの公園で、人々は心を空にし、あるいはまた美しい大自然の息吹を感じることでしょう。

台南園区の自転車道路整備 より快適な自転車ライフを

より良いサイクリング環境の整備によって自転車利用の促進を図るため、全長 56 キロの主要な自転車道路に対し急傾斜を減らしたり自転車専用レーンのラインを引くなどの改良を施しました。また、日陰を作るため沿道の植栽を進めたことにより草木の緑に囲まれながらサイクリングが楽しめるようになりました。入り口には自転車の形をした案内図が設けられ、台南園区の生活機能と生態景観に関する情報が人目で分かるようになっています。自転車道路上の要所要所に自転車専用の見やすい案内板が立てられ、主な見所には詳しい解説板も用意されています。このように、環境に優しいエコロジーな自転車は環境保護を目指す南科のシンボルとなっているのです。

緑化推進と街灯の LED 化

園区の緑化推進のため、2011 年には 4600 本の植樹を行って年間約 92 トンの二酸化炭素排出削減を実現しました。また、744 の街灯を LED 化したことで年間約 64 トンの二酸化炭素排出削減が見込まれています。日中は鬱蒼とした森林のように緑豊かな南科が、夜には様々な光が交錯する美しい空間へと一変します。これも、大幅な省エネが可能な LED だからこそ負担なく実現できるのです。

空気のきれいなオフィス

南科では行政院の「室内空気品質管理推動方案」と環保署の「推動公共場所室内空気品質自主管理制度」に基づいて室内空気の自主管理を推進しています。南科は環保署が公布した検査方法に従って自己チェックと改善を重ね、公共スペース室内空気の自主管理に関する台南市政府環保局の格付けで台南市唯一の五つ星の認定を受けて 7 月 27 日に頼清徳市長から表彰されました。

台南園区工業用水供給システムが完成 第 5 配水池とポンプ場を建設

台南園区第 5 配水池建設工事が 8 月 9 日に完了しました。配水池は地下化され地表は緑地になっています。「水」をイメージして設計されたポンプ場はシンプルな外観に曲線の屋根で水の流れを表現しており、近くの E2 遊水池や霞客湖の景観と一体化して園区の従業員や住民がリラックスできる憩いの場を提供しています。その完成は台南園区の工業用水供給システム全体が完成したことを示す象徴的な出来事となりました。